

平成 17 年第 2 回 (6 月) 定例会 一般質問通告表

	質 問 事 項	質 問 者
1	1 政治姿勢について (1) 市長職一年を経過して、財政見直しを踏まえての佐渡市の将来像をどのように描いているか (2) 類似市に比較し、職員数は1,000人程度多いうえに、5年間で高い給与に調整するということは全国の自治体の方向性に逆行しているが (3) 指定管理者制度によって、約88億円といわれる補助金・負担金をどこまで縮小できると考えるか。また、公約の P F I はどうなったか (4) 市庁舎の位置を3月中に決定するとの本会議答弁だが、どのようになっているか。組織の再編に深くかかわっていると考えるが、明確な答弁を求める 2 教育行政について (1) 統合計画はどのように進んでいるか (2) 相川の下越教育事務所出張所がなくなり、管理主事は市で負担しなければならぬとの懸念があるというが、どのような見通しになっているか 3 水産行政について (1) 漁協の合併はどのように進んでいるか。大幅な赤字の組合があるというが、多くの組合員が不安に感じていると聞く。協議会の会長を引き受けた市長は実態を把握しているか、説明を求める。また、市が財政にかかわるものがあるか (2) 離島漁業再生支援事業交付金2億8千万円が5年間直接支払いの形で交付されるが各集落の海岸清掃等にも交付されるか。漁協だけにしか交付されないか (3) 佐渡におけるバイオマスについて今後の展開を問う 4 公平妥当な行政運営について (1) 固定資産税の評価は、実際の価格に合致しているか、見直しの是非について (2) 農振地域の見直しの必要性について問う (3) 佐渡市としてのトータルな都市計画の策定はどのようになっているか	猪股文彦
2	1 市長の政治姿勢について 高野市長の施政方針を熟読するほどに観光復活百年の大計に賭ける。将来ビジョンも積極性も情熱の片鱗も展望することができない。小手先だけのバラ蒔き計画のようなごまかしでは本当に佐渡観光に輝く将来が来るのか。夢のあるダイナミックな政策を期待したいがどうか 2 佐渡観光の具体的な振興策について (1) 何故にここまで佐渡観光が惨憺たる落込みになったのか、具体的原因の分析をしているか。所見を伺いたい (2) 市長からダイナミックな振興計画が伺えないが、特例債の見直しと合わせて、新規事業を提起する千載一遇の機会だと思うがどうか	大澤祐治郎

	質 問 事 項	質 問 者
2	(3) 大型空港がもてないことが佐渡観光の一番の欠点だと思うがどうか。国策にのった時流を取り入れ国防基地として官民共有の国営空港の誘致に手を挙げる勇気があるか。関係官庁に打診をする考えはないか (4) 今や防衛政策の重要な島として、国から重視される佐渡の将来は洋々たるものがあると思う。ミサイル防衛（MD）構想で全国4か所の内に佐渡が選ばれることになった。ミサイル防衛（MD）構想のシステムの中核となる新型の地上警戒管制レーダー「FPS-XX」が2009年度に配備計画が予定されることとなった。またそのために敵視される危険な島にもなる訳ですが、リスクを逆手にとって、日本を防衛するため、また、佐渡を守るために航空基地は不可欠と思う。この機会に国に佐渡を高く売り込むべきで、見返り事業として官民共有型の大型飛行場の実現を要求すべきだと思う。国が協力を拒むなら、危険なミサイル防衛地上警戒管制レーダー「FPS-XX」の島内建設は島を挙げて断固断るべきだと思う。市長の勇気と勇断を期待するがどうか (5) リピーターの付く観光をどう考えるか 自然観光（景観）では佐渡は種切れで一度見れば二度見たいというリピーターは少ない。人工的な観光資源を大型投資をして作るべきと思うがどうか 人工的観光資源の代表として、日本の有名な観光地では、水族館が多い。日本のテーマパークで最も人気のあるところといえば文句なく水族館であると言われている。年間延べ訪れる人は3,000万人、そのうちリピーターは、400万～500万人と言われている。是非100億円位の大水族館を作るべきと思うがどうか。ダイナミックな政策の一環として尋ねる マリニピア日本海は、65億円の事業費で平成2年に建設され、平成17年6月1日に900万人のお客さんを迎えたそうである。年間50万～60万人の稼動があり、6億円の売上げがあると資料をいただいた 上越市立水族館は、15億7千万円余、昭和55年新築。年間22万人余、約1億8千万円の売上げ 県内の代表水族館の2つを紹介したが、佐渡市でも十分に採算の取れる事業である。まさに世界に冠たる水族館王国で日本人は水族館好きであると元鳥羽水族館副館長・中村元氏が「水族館の通になる」で書いている ぜひ観光客誘致に人工観光資源として一考する必要があると思うが所見を尋ねたい	大澤祐治郎
3	1 観光振興について (1) 佐渡観光低迷の原因を、どのように把握しているか (2) がんばろう新潟佐渡キャンペーン事業の効果について (3) 佐渡汽船運賃値下げの社会実験の結果と減便による観光への影響について、市長はどのように考えているのか (4) 佐渡観光振興アクションプランの進捗状況と今後の取組みについて	浜田正敏

	質 問 事 項	質 問 者
3	佐渡百選の選定方法について具体的に聞きたい 佐渡百選の受入れ態勢をどのように考えているか (5) 観光客がどのような不満を感じているかデータはあるか 2 これからの農業振興について ○ 高齢化と後継者対策について伺いたい	浜 田 正 敏
4	1 指定管理者制度導入について (1) 「制度」そのものに問題はないか サービス向上と経費節減は両立するか 民間の能力や専門的な手法とはいかなるものか (2) 「制度」への移行を検討するに際して、廃止あるいは民営化が妥当な施設はなかったか。また、「制度」の円滑な運用のため専門家による経営診断を導入してはどうか (3) 有効なリストラ策として運用するつもりがあるか (4) 「制度」対象外としているものについて特区など規制緩和策が必要ではないか 2 内部告発者保護制度の要否について (1) 頻発する組織的違法・不正行為についてどう考えるか 本市では発生の恐れはないか。入札談合、福祉・教育・医療現場での暴力、収賄・横領等々について 内部告発があった場合、どのように対処するか (2) 公益通報者保護法（Ｈ１６．６）への本市対応はどうするのか 条例制定か、保護規程か 佐渡農協の例もあり、市長より職員に対しコンプライアンスの徹底と内部通報者保護の宣言をしてはどうか 3 公共的団体の統合化について (1) 観光協会・商工会の進捗状況について 本市の関与の仕方と考え方 今後の補助金のあり方 (2) 社協を除く各社会福祉法人の統合化に向けて次の２点について会議を主催してはどうか 類似施設利用のネットワーク化と一元管理するセクションの立ち上げ 法人間の人事交流の確立（現場研修・職員の異動） 有能な専門職確保のため共通採用試験の実施	田 中 文 夫
5	1 佐渡再生に何が必要なのか ○ 特区・離島振興室の持つ意味 離島振興法は、それぞれの離島地域が創意工夫を基本に、地域固有の資源を生かし、離島の有する地域格差を「価値ある地域差」と捉え、佐渡の活性化に取り組まなければならないと考えているが、佐渡市における、特区・離島振興室特設の持つ意味、市長の基本理念を説明いただきたい	祝 優 雄

	質 問 事 項	質 問 者
5	離島の資源活用「価値ある地域差」を作り出すために今何が必要なのか、観光関連に特化するのに異論はないが、小木支所提案のお粗末な事業計画に見られるように、「自治体・既存の観光協会」に費用対効果を求める姿勢がまったく感じられない 行政組織の統一と職員の意識改革は申すまでもないこと、新たに立ち上げる佐渡観光協会は組織体系と人身一新で望まなければならない。市長はどのように考えているのか 本土と離島の格差是正には、「離島の流通形態の確立」、航路改革と空路の確保といっても過言ではなく、離島島民が本土との格差是正を実感するためには、空港施設の整備と航路運賃の無料化実現以外にないと考えている そこで、離島の流通形態がもたらす負担増と航路改革に新たな提案を示し、離島の悲願である航路運賃の無料化実現に向け、新たな一歩を踏み出す議論にしたいと考えている 2 病院運営について (1) 相川と両津病院の施設規模と過去10年の病床利用率と各診療科の診療人数と職員数 (2) 15年度の相川・両津病院、職員一人当たりの患者数と職員一人当たりの診療収入、医師部門・看護部門、過去10年で最も収入の高かった時と低い時の数値。また、医師・看護師の充足率を報告願いたい (3) 相川病院の病床数60床、療養型、15年度の病床利用率67.6%となっているが、急性期疾患の利用率、慢性期疾患の利用率を聞かせていただきたい。併せて、療養型導入以前より利用率の低下は何が原因なのか (4) 佐渡の持つ特殊性として、両津病院に療養型と老人性認知症疾病棟導入の検討が必要と考えるが、現場では検討過程はあるのか	祝 優 雄
6	1 市立病院及び社会福祉施設の地方独立行政法人化を検討すべきと思うが市長の所見を伺いたい (1) 両津病院及び相川病院 (2) 特別養護老人ホーム歌代の里及び養護老人ホーム待鶴荘 2 市道の県道昇格への準備を (1) 既に県道昇格を要望している市道は何路線あるか。その地区はどこか (2) 新たに重要市道を県道昇格させる準備が必要ではないか 3 都市計画区域の再編見直しを (1) 交通事情や市街地の拡大形成等の社会情勢は著しく変化した。佐渡の将来を見据えた時代に相応しい都市計画区域の再編を行い、マスタープランを早急に作成する必要がある。この再編の取組みはどうなっているか (2) 再編に当たっての課題、手続き上の問題点は何か (3) 市都市計画審議会への諮問時期 (4) 今後のスケジュールを示されたい 4 中国、韓国の対日感情悪化による佐渡への悪影響の兆候はないか	白 杵 克 身

	質 問 事 項	質 問 者
6	(1) トキに関する交流 (2) 観光をはじめ産業振興への影響 5 佐渡空港整備に向けての進捗状況 (1) 県は佐渡空港の必要性を検討する委員会を設置する。県営空港なので県知事の判断を待つところであるが、市長としてどのような働きかけをされているか (2) 県知事の判断が示されるまでの間であっても、佐渡空港の整備は行われるとの前提に立って地権者交渉を当然進めるべきと考える (3) その上で、現佐渡空港整備計画の見直しをも視野に入れた選択をする時期について市長の考えを伺いたい (4) 関連して、佐渡新潟間を運航している会社が、県知事に運航に関する要望書を出したと仄聞するが、市は内容を承知しているか。承知しているのであれば支障のない範囲で聞かせてほしい	臼 杵 克 身
7	1 環境の島、エコアイランド構想について (1) 海岸の漂着物について (2) 不法投棄について (3) 清掃委託料について 2 統廃合によって生じた建物又は遊休地について (1) 建物を有効利用する考えはないか (2) 老朽化し危険な建物は処分したらどうか (3) 使用してない借地は元の地主に返したらどうか (4) 地元に払い下げるか、民間に売却したらどうか	大 谷 清 行
8	1 市長の政治姿勢について ○ タウンミーティングの感想について 2 税の徴収状況について ○ 税収について 平成16年度の支所別不納欠損額は 不納欠損の意味について 不納欠損額が多い上位3支所の徴収体制と差押状況を問う 3 佐渡観光について (1) ゴールデンウィーク中の佐渡観光客の入込みについて ・ 増加又は減少の原因を問う (2) イベントについて 観光資源開発室が進めている「佐渡のお宝、魅力を一緒に発掘しましょう！」という企画と佐渡百選の違いは何か 先日新潟日報で「佐渡のお笑い島計画」において取り上げられた予算の食い違いについて、佐渡市あるいは「がんばろう新潟佐渡キャンペーン実行委員会」から補正はするのか (3) 行政システムについて 補助金を受けている観光事業の中で、行政内に事務局のあるものは何か	廣 瀬 擁

	質 問 事 項	質 問 者
8	補助金を受ける団体が、行政内に事務局を置くことができるのか 観光事業に補助金を出し、行政内に事務局があることに関し、佐渡市補助金等交付規則の受け取り方がまちまちで、支所を含めた課長や担当が独自で行うことで地域格差のある行政サービスが生じている。佐渡市民に対して平等であるために是正する必要があると考えるが、平等であるために、平成16年度に行ったもの及び平成17年度に行うものは何か 住民に対し、公平な是正を佐渡市が作成する上で、市長からその指示が出されたのかどうかを問う (4) 佐渡情話、野口健自然環境学校について 事業費の予算内訳を問う 産業経済常任委員会又は一般質問でも異議を唱えられたにもかかわらず、6月補正で予算の減額がなされていないが、その後の経過を問う	廣 瀬 擁
9	1 佐渡市の医療の充実について (1) 地域医療計画は策定したのか(いつ策定するのか) (2) 医療計画の中での市立両津・相川病院の位置づけは (地域医療、病診連携、施設規模、医師数、医療水準、財政面等から) (3) 将来の市の理想的医療はどうあるべきか 2 対応が遅れている佐渡市の障害者福祉について (1) 「岩の平園の事件」について佐渡市の再発防止対策と処分はどうか (2) 精神障害者の現状と対策は(基本姿勢・施設の現状と建設予定・今後の方向) (3) 知的障害者の現状と対策は(同 上) 3 高齢者の介護費用軽減対策について (1) 佐渡市としての取り組みは何か (2) 高齢者牛乳の無料提供(旧新穂村)の復活はできないか (3) P P K効果大のゲートボール競技の奨励を検討してはいかがか 4 市の産業における畜産業の位置づけについて 佐渡市の生き残りのためには、一・二・三次産業と自然を生かした「アグリ・ツーリズムの島」を目指すべきと考えるが、市の一次産業への熱意が伝わってこない (1) J A 佐渡・羽茂と協力し、畜産を含む複合型農業を目指す行動を進めてきたか (2) 市は産業・観光・環境・教育等の面から畜産をどう理解しているか (3) 畜産・酪農推進のために県の専門職員の派遣を求めるべきではないか (4) 観光誘客の人気スポットとしても、ドンデン山の観光牧場化を進めるべきでないか (5) 牧場整備計画の段階は(委員会設立は。南部地区の牧場新設検討を)	村 川 四 郎
10	1 指定管理者制度について (1) 指定管理者制度とそのあり方について明らかにされたい (2) 指定管理者制度への行政業務の適用範囲と将来の見通しについて具体的に明らかにされたい	小 杉 邦 男

	質 問 事 項	質 問 者
10	2 監査制度のあり方について (1) 行財政の適正な執行のため監査体制の強化を図るよう専任職員の配置が必要と考えるが、見解を問う (2) 外部監査制度を導入する考えはないか 3 介護保険制度の見直しについて (1) 今国会に介護保険制度の改正案が出されているが、その内容は現行制度との比較において、どのように変わるのか明らかにされたい (2) 介護保険制度変更への市の体制の整備状況を聞きたい	小 杉 邦 男
11	1 市長の政治姿勢について (1) 「合併」という手法を用いることによって、いかなる問題を解決しようとしたのか、その目標、目的とされるものは何か。既に市の施策として具現化されたものはあるのか (2) 合併前に描いた構想と現実の市政執行にあたって、大きな誤算はあったか否か。あったとすれば、それは何だったのか (3) 自治体トップとしての「経営哲学」はあるのか否か。あるとすれば、どのようなものか 2 自治体改革について (1) 高齢少子社会（カネのない社会）に対応すべく、市の行財政需要を抑制するために、どのような施策を考えているのか (2) 政策をどう実施するか「行う機能」は磨かれていても、政策をどう創り出していくのかという「考える機能」は極めて弱いと考える。今回の合併を契機に、この部分をどのように強化していくのか (3) 市民に「開かれた自治体」を実現するために、市としてどのような施策を考えているのか (4) 情報公開を充実させるために、市としてどのようなことを考えているのか (5) 住民投票制度について市長はどう考えるか 3 人事制度改革について (1) どのような人材を採るのか (2) 人材をどのように育てていくのか (3) 組織の活性化を図るために、どのようなことを考えているのか 4 タウンミーティングについて (1) タウンミーティングは、いかなる意図のもとに企画されたものであるか (2) 市民から出た意見、あるいは要望は今後の市政に反映されていくのか、それとも、その場限りの説明で終わってしまうのか (3) タウンミーティングから市長は何を感じとったか	松 本 展 国
12	1 遠隔辺地対策について (1) 県道佐渡一周線における改修整備工事の佐渡市優先順位はあるのか、あるとしたら根拠・基準は何か (2) 市道の改修整備工事の進捗状況と、整備順位基準は何か、また市道整備における集落負担はあるのか	大石惣一郎

	質 問 事 項	質 問 者
12	(3) 新たな、中山間地域直接支払制度への佐渡市の指導方針を問う 国は集落営農・法人化・農地集積を強く打ち出しているが、佐渡市としての方針を問う 協定締結集落への佐渡市としての具体的支援策はあるのか 2 トキ野生復帰における住民説明と、理解度の進捗状況を聞く 3 市職員研修について (1) 佐渡市職員研修マニュアルはあるのか (2) 現在市職員が、民間企業に出向研修しているか、いるとすれば何人か (3) 住民対応マニュアルはあるか 4 地産智商（地産地消）の取組みについて (1) 学校・病院等における地産智商率は何パーセントか (2) 県・ＪＡとの連携体制は確立されているのか	大石惣一郎
13	1 機構・行財政改革の目的と今日的課題について (1) 法的に規制のある道路の不法占拠がなぜ行われ、どのような手続きを経て解消したのか（具体的には、加茂幹線 9 号事件。類似の用地箇所） (2) 事業見直しで、年間約 2 億円の経費削減が可能（職員退職ではない方法で） 南部クリーンセンターの焼却業務休止と、最終処分場の有効利用 メルティングセンター佐渡の J I S マークと経済効果 国民健康保険の「暫定賦課通知」の廃止等 (3) 合併後遺症対策と機構改革の成果の徹底 地域再生法に基づく地域再生事業の検討 バイオマスタウン構想（H14.12 閣議決定）と京都議定書に向けた「バイオマス・ニッポン総合戦略の中核事業」等の研究により、佐渡の活性化、特に合併後遺症最重要地域、両津商店街再生の模索 両津海岸線バスは、タウン再生の視点が必要（当面の対策として、合併補助金活用） (4) 地域再生事業は、特別チームの編成が必要 行政改革推進のための指針、人材育成の訓練と地方分権時代の事業と職員の意識改革 情報収集の技術の習得 政策立案能力の養成 （佐渡再生プランの作成等の推進で民間に勝る能力の発揮）	加賀博昭
14	1 少子化対策、次世代育成対策について (1) 育児休暇（休業）について 企業の育児休暇の制度に対して補助あるいは何らかの計画はあるか まずは行政で男子職員に対しても気軽に育児休暇をとれる環境づくりが必要であると思うが、市長の所見を伺う (2) 行動計画に数値目標がなく漠然としているが所見を伺う (3) 子育て支援対策室を設けるべきと思うが市長の考えを伺う 2 2007年問題に関して	羽入高行

	質 問 事 項	質 問 者
14	(1) 団塊の世代の退職がピークを迎える2007年問題があるが、老後を田舎で暮らしたいという人が多い。首都圏佐渡連合会や東京佐渡事務所などを通してＩターン・Ｕターンを呼びかけすることが人口減対策となると思うが市長の考えを伺う (2) 受け入れ態勢の整備が必要と考えるが 3 雇用対策について (1) 佐渡市の今年の雇用状況を伺う (2) 雇用対策室を市役所内に設ける考えはないか 4 特区・離島振興室について ○ 特区の進捗状況を伺う	羽 入 高 行
15	1 ごみ処理問題について (1) 経過と現状の問題点について 「県産廃不法投棄監視会議」設置を巡って 島内のごみ処理総量はどのくらいあるのか（一般・産廃） 島内のごみ収集の方法を巡って 産廃施設（佐和田地内）を巡るいくつかの問題 (2) 今後の佐渡市の対応について 2 教科書採択について (1) 採択のシステム・手順などについて (2) 教科書展示を巡って (3) 教職員・保護者・地域住民の声は反映されるのか	金 山 教 勇
16	1 佐渡レーダー基地の強化について ○ 航空自衛隊第46警戒群所属の佐渡基地のレーダーを09年度までに、ミサイル防衛（ＭＤ）構想に対応するように新機種「ＦＰＳ－ＸＸ」に切り替えることについて 日本は、周知のように憲法で戦争を放棄し、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意」しているところである。したがって、いたずらに「仮想敵」を想定し、「ミサイル防衛」などと騒ぎ立てることは、日本国憲法が予定しているところではありえない。見解を伺う 佐渡のレーダー・サイトの所在地は、佐渡市民だけでなく広く県民にとっての心のふるさとともいべき金北山であり、ここが長期にわたって自衛隊の用地として提供されていることは極めて由々しき問題と言わなければならない。「仮想敵」を想定した施設の強化は、結局その施設への「ゲリラ」、「テロ」をも想定することになり、市民・県民を戦争に備える国づくりへの道に、有事体制に引き込む深みにはまっていくだけである。金北山が、広く県民・市民の憩いの地として安心して利用できる日の早からんことを切に願うものである。見解を伺う	中 村 良 夫

	質 問 事 項	質 問 者
16	以上のような意味から、佐渡レーダー基地のミサイルの「ミサイル防衛計画」への取組みを白紙に戻すよう国に申し入れられたい。見解を伺う 2 地元業者に仕事をまわして佐渡経済の活性化について ○ 小規模工事の登録制度について ・ 小規模工事登録制度は、地方自治法234条に基づく「随意契約」の創造的な運用を図ることを目的に自治体が設け始めた制度。「小規模修繕契約希望者登録制度」「小規模契約希望者登録制度」と名称は様々であるが、自治体が発注する土木、建築、電気、内装仕上げ、板金、塗装、ガラス、造園など多岐にわたる小規模工事に、今まで指名競争入札の参加資格登録をしていなかった人も登録できる。制度の創設を求めることについて見解を伺う 3 お年寄りや障害者が安心して暮らせることについて (1) 介護保険制度見直しについて 何点か提案をする（資料提出）ことについて見解を伺う 低所得者への支援策が新たに必要ではないかに対して検討すると言われたが、どのように検討されたか見解を伺う 制度見直しについて問題点は何か。見解を伺う (2) 障害者自立支援法案について 収入の少ない障害者からも「福祉の利用料」を取りたてることの、どこが「自立支援」か。見解を伺う 法案の問題点は何か。見解を伺う	中 村 良 夫
17	1 市長の政治姿勢について (1) 職員の意識改革について 合併により、行財政改革がさらに強く求められているが、組織内は旧態依然と感じられる。今後の取組みについて伺う (2) 市民へのメッセージ 合併を推進した立場は理解できるが、今後、厳しくなる財政状況や、今後の政策を説明し理解を求めるべきと考えるが所見を伺う 2 社会福祉協議会との関係について (1) 市職員の派遣、出向について どのぐらいの人事交流があるのか 不要な部所への派遣があるように思われるが、市長の所見を伺う (2) 市職員の役員就任について ・ 市職員の役員就任状況はどうなっているか 3 行財政改革について (1) 指定管理者制度について (2) 行政財産の処分について 4 市税収入の増と連担について (1) 7万自治としての都市機能づくりについて (2) 中心市街地づくりについて	金 光 英 晴

	質 問 事 項	質 問 者
18	1 佐渡市の防犯対策について (1) 防災安全管理室が設置されたが機能しているのか (2) 市内で多発している「児童・生徒に対する不審者」の対策を伺う (3) 「地域の安全は地域で守る」ため市民が地域を挙げて取り組む自主的防犯活動を支援・促進するため地域防犯活動費助成制度を創設すべきである。市長の所見を伺う (4) 住民基本台帳の情報を利用した犯罪が発生しているが、対策を伺う 2 児童生徒の報奨制度の創設について ○ 佐渡市の小・中学校の児童生徒がスポーツや学芸の分野において優れた成績を収めたとき、その個人及びチームを表彰し、その資質の発展向上を助長することを目的とした報奨制度が必要と考えるが、市長の所見を伺う	中 川 隆 一
19	1 佐渡汽船航路社会実験について ○ 離島である佐渡にとって島外とのアクセスの利便性は島の観光ばかりでなく、産業振興全般及び島民の生活にとっても重要な課題である。今回の行われた「佐渡汽船航路の社会実験」は、今後の佐渡の交通政策において貴重な試みであるといえる。この成果を今後の交通政策に反映させるべく慎重な取組みを心がけていかなければならないと考える。その対応について問う。 今回の実施の結果について 実験から考察される問題点と課題は アンケート調査結果について 9月実施に向けての対策 来年度以降の実施の意向について 2 市内の土地の政策について ○ 現在の佐渡市の都市計画区域は、合併前からの区域をそのまま維持している。この区域の範囲には、その必要性のない範囲が過分に含まれていると考える。規制緩和が叫ばれる近年、都市計画区域を見直すことで、当該地域の住民にはいくつかのメリットを引き出すことが可能となるほか、土地の流動化にもつながると考えられる。その対応について問う。 現在の都市計画がこのように広域に決定された理由は 今後の対応は 関連して農振区域の再検討については	稲 辺 茂 樹
20	1 佐渡の航路改革を求める (1) 4月の社会実験の総括と、9月に予定されている実験の内容及び佐渡市の経費負担 (2) 赤字経営の原因と改善策 2 本庁整備（建設）の時期と場所 (1) 本庁舎検討委員会（行政及び民間）の検討結果 (2) 職員の待機時間や移動時間の無駄を省くとともに、議会の効率的な運営をするため本庁に議会棟の早期整備が必要であるが、その時期と場所を問う	近 藤 和 義